

2007年3月23日

報道関係者各位

CKD株式会社

<http://www.ckd.co.jp/>

第10世代対応 FPD製造装置向けのエア浮上機器発売のご案内

当社は、フラットパネルの非接触（エア浮上式）搬送用機器、「フロートスター GFMシリーズ」を2007年3月26日に発売いたします。

1. 開発の背景

昨今、液晶テレビやプラズマテレビの大型化が進んでおり、これに伴い生産方式も大きな変革を遂げています。

薄型テレビの大画面化に伴い、重量軽減のためマザーガラスの厚みを薄くする傾向にあります。一般的に、薄い大型マザーガラスは、生産過程で次工程への搬送時にガラス基板のひずみも大きくなり、割れるなど不良品が発生する可能性が高くなります。ひずみを発生させない搬送方法として空気圧力による浮上搬送方式があり、搬送中の生産性向上（不良率低減）を実現するために、非接触搬送技術が注目されるようになってきました。

当社は、この市場ニーズをいち早くとらえ、当社の得意とする空気圧技術を応用して各工程のニーズに適応した商品群を開発いたしました。そして、この商品と従来から取り組んでいるクリーン機器とのシステム提案をし、お客様の新たな装置構想に貢献できると考えております。

（注） 第10世代：薄型テレビのマザーガラスのサイズで、2,850mm×3,050mmの大きさ。ガラス基板を大きくすることにより、大画面化と低コストに対応している。

2. 製品の特徴

（1）非接触で安定した高精度浮上を実現しました。

新素材多孔質の採用により、安定した浮上を実現しました。

(2) ガラス基板への帯電を防止できます。

帯電防止の新素材によって、ガラス破損の原因となる静電気を抑制します。

静電気は、液晶パネルを製造する上で致命的な問題となります。特に構成部材のひとつである、ガラスに電線を印刷した TFT (薄膜トランジスタ) があり、これが静電気を帯びると、配線がショート (断線) して不良品としてしまい、生産能力を低下させてしまいます。

(3) クリーン対応品として、クリーン度はクラス 10 レベルを実現しています。

新素材多孔質の採用により、浮上エアのパーティクル発生を抑制します。

パーティクルを極限まで発生させない洗浄技術確立のため、クリーンな製品を提供します。

(4) 画像検査や露光など光を使用する装置に最適です。

製品を黒色化することで、光源を使用する装置で問題とされる光の乱反射を抑制する工夫がなされています。

(5) 豊富なアプリケーションを提供できます。

浮上システムに必要な空気圧機器を取り揃えており、お客様のご要望にお応えします。

3. 主な用途 (* 次ページの搬送図を参照ください)

(1) 基板搬送コンベアや装置のローダー・アンローダー (導入・導出) の搬送レール

(2) ロボット間のアライメント (ガラスの位置決め) ステージ、旋回コンベア

(3) コーター (レジスト塗布) 露光、欠陥検査装置

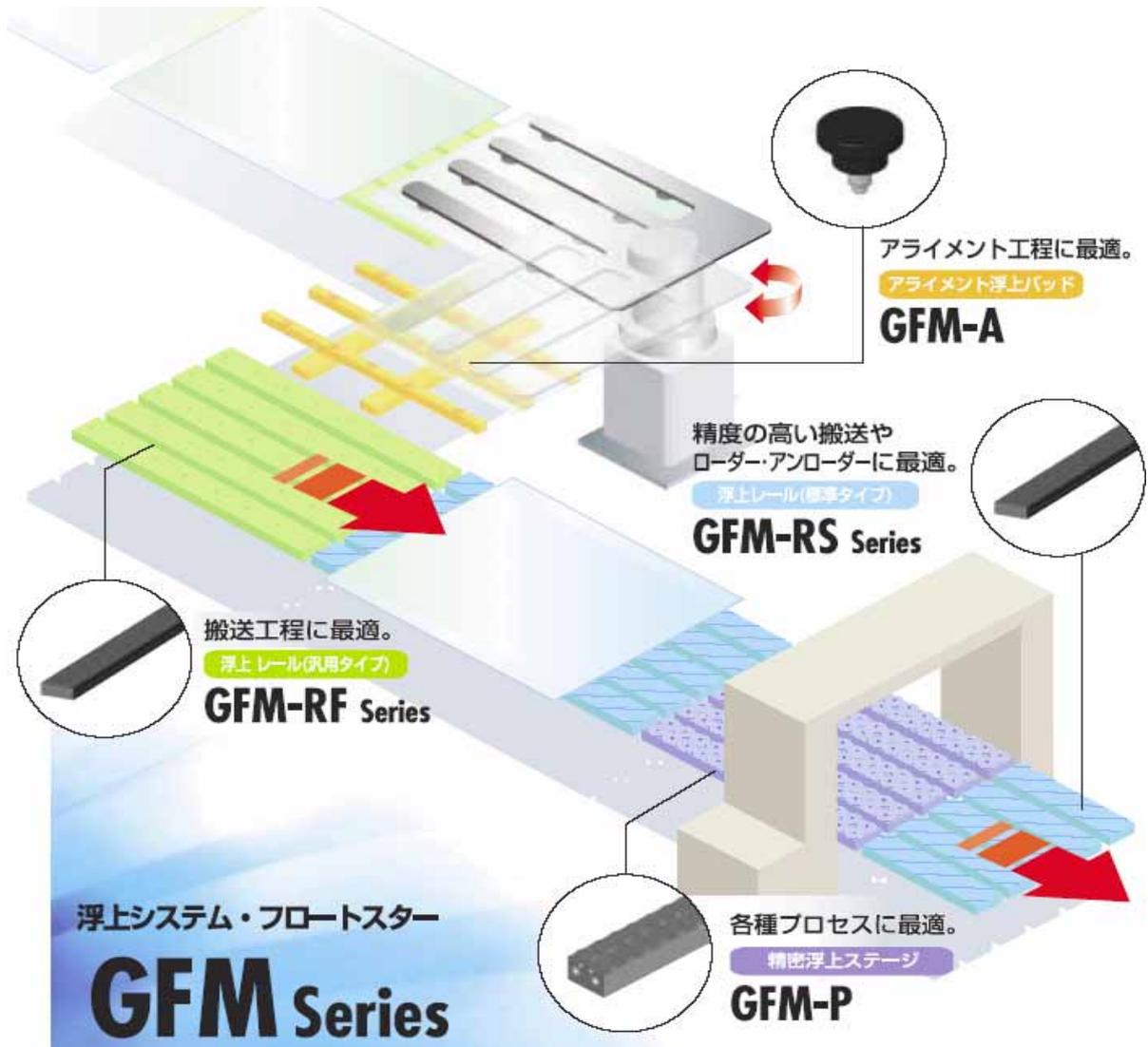
4. シリーズと標準価格

(1) シリーズ	アライメント用浮上パット	: G F M - A
	浮上レール	: G F M - R S
	* ストローク 500/750/1000mm	: G F M - R F
	精密浮上モジュール	: G F M - P

(2) 標準価格	GFM-A	1.5万円
	GFM-RS	16~23万円
	GFM-RF	14~21万円
	GFM-P	20万円

5. 販売目標

	初年度	2年目	3年目
台数	2,000台/年	4,000台/年	5,000台/年
売上	4億円/年	7億円/年	8億円/年



< 製品写真 >



問い合わせ先 C K D株式会社 総務部 坪井または杉浦まで
TEL : 0 5 6 8 - 7 4 - 1 2 3 8
FAX : 0 5 6 8 - 7 1 - 4 3 2 2

以上